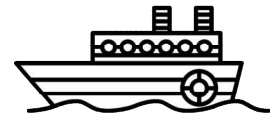




保護者のみなさんへ



家庭学習とは、「家庭で学習すること」です。学校の授業内容を確実に身に付けるためには、学校の授業はもちろん、家庭での学習が重要になります。

まずは、「家庭学習チェックリスト」を活用して、家庭学習を始める準備をさせてみてください。

『 家 庭 学 習 チ ェ ッ ク リ ス ト 』

STEP 1 「これだけは！」

学習環境は整っていますか。

学習スペースの確保や学習道具の準備など、子供が自分でできるまではサポートしてあげてください。

机の上に、物がたくさんあると、気が散ってしまいます。机の上には、学習に必要な道具（教科書、ノート、ワーク等）だけを、置くようにすることが大切です。

家庭での学習の様子を把握していますか。

子供が努力している姿を見守ることがポイントです。時には、「頑張っているね」と褒めてあげてください。

目標を決めて取り組んでいますか。

「今日は、漢字を○字覚える」「今日は、計算ドリルを○ページやる」など、具体的な目標があると、学習に取り組むきっかけとなります。

STEP 2 「もう一歩前へ！」

毎日取り組むようにしていますか。

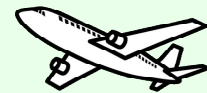
習い事や他の予定がある人も多いと思います。計画表を作って、学習内容を予定通り進める習慣を身に付けさせることがポイントです。まずは、一週間の計画表から作成してみてください。

声に出したり、ノートに書いたりして、学習をすすめていますか。

教科書を見ているだけでは、なかなか覚えることができません。声に出して教科書を読んだり、ノートに書いたりして、学習をすることは大切なことです。

わからない問題は、教科書を見たり、調べたりして学習していますか。

わからない問題をそのままにいませんか。わからない問題は、教科書等で確かめることが大切です。それでも分からない時は、先生に聞くなどして、問題を解決するようにさせてください。



よく家庭学習の時間は、「学年×10分」と言われます。しかし、家庭学習は何分間やればいいのかというのではなく、「学校から帰ったら宿題をやる」「遊び（習い事）から帰ったら宿題をやる」など、家庭学習を始める時間を決めると良いです。

☆家庭学習の時間の目安

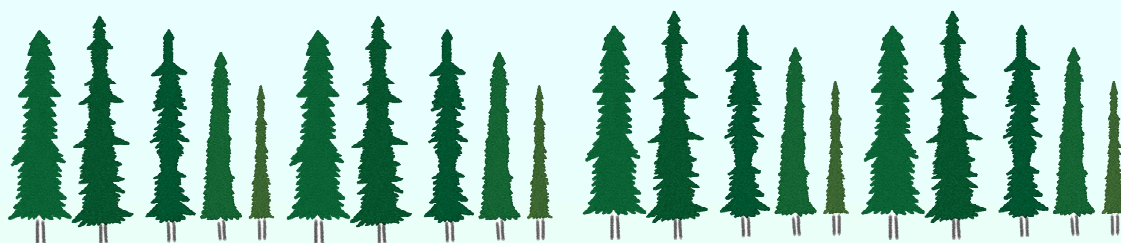
小学1年～3年・30分、小学4年・40分、小学5年・50分、小学6年・60分

中学1年・1時間30分、中学2年・2時間、中学3年・2時間30分



家庭学習のすすめ

☆ 青梅市立小学校 3・4年生用 資料 ☆



青梅市教育委員会

年 組 番

なまえ
名前

家庭学習のすすめ 3つのポイント

☆ 学習する時間を決めよう

決まった時こくに学習を始めましょう！

- ⇒ 始める時こく、何分間学習するのか決めましょう。
- ⇒ 毎日かならず学習し、始めたら、さいごまでつづけましょう。

☆ 学習の準備をしよう

学習しやすいかんきょうにしましょう！

- ⇒ 学習に必要なものは、机におかないようにしましょう。
- ⇒ テレビやゲームなどは消しましょう。

☆ 復習しよう

学校で学習したことをふりかえりましょう！

- ⇒ 終わったら答えあわせをしましょう。
- ⇒ まちがえたところは見直して、たしかめてできるようにしましょう。
- ⇒ 宿題が終わったら、自主学習を試してみましょう。
- ⇒ 教科書を見ているだけでなく、声を出して読んだり、ノートに書いたりしましょう。

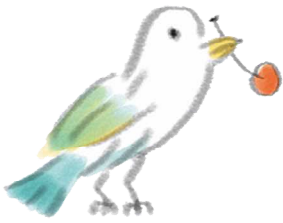
外へ出かけてみよう！

家庭学習は、家の中で机に向かってするだけではありません。休日など時間があるときに外に出て、自然や伝とう・文化についても学習してみましょう。

- 道ばたや畑や田んぼのまわりにある木や草花のしゅるいを調べてみましょう。
- 山や川、お寺、公園の様子などを絵にかいてみましょう。
- 社会・理科・そう合的な学習の時間などで学習していないようをくわしく調べたいときは、図書館やはくぶつ館、びじゅつ館などに行きましょう。

(青梅市の主な施設) 青梅市図書館、青梅市吉川英治記念館(よしかわえいじきねんかん)

- 危険な場所には行かない、近づかない。なれない場所に出かけるときは、大人の人といっしょに行きましょう。
- ☆ 見学先のチケットやパンフレットをノートにはり、かんたんな感想を書けば、すてきなガイドブックができますよ。



家でも学習用たんまつを
使ってみよう！！

書いてみよう

- ・文書作成ソフトを使って、一行日記や、読書感想文を書いてみましょう。

【活用のポイント】

相手に伝わるように、言葉を変えたり、書きくわえたりすることが、べんりにできます。

Googleドキュメント
このマークをクリック



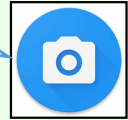
写真をとってみよう

- ・日々のお手伝いの様子を、写真でとってみましょう。

【活用のポイント】

とった写真を残しておく、いつ、何をしたのか、わかりやすく記ろくすることができます。

カメラきのう
このマークをクリック



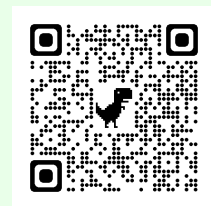
～インターネットをつかってみよう～

- ・ NHK for school
(<https://edu.web.nhk/school/>)



- ・ ^すきみの好き！^{おうえん}応援サイト
^{たい}たのしくまなび隊

(<https://tanoshikumanabitai.mext.go.jp>)



- ・ Google earth
(<https://earth.google.com/web/?hl=ja>)

Google earth
このマークをクリック

